

従業員の健康推進

取り組み実績と具体策

2018年度は、出光興産・昭和シェル石油共にそれぞれの方針に基づき、健康推進に取り組んできました。

具体的な取り組み実績

- メンタルヘルス対策：2018年度は、延べ5,774名がe-ラーニングを受講
- 生活習慣病予防策：当社基準の健康管理区分による保健指導を実施
- 海外駐在員に対し、日本とは異なる環境での健康管理のサポート体制や制度を構築
- 健康保険組合とのコラボヘルスによる「職場における健康セミナー」などを一部で実施

- 効果的なウォーキングをテーマにした健康セミナー（帝劇本社、2019年11月開催）



正しい姿勢、歩幅、スピードで歩くコツを学び、カロリー消費量を高める効果的な歩き方を習得しました。

2019年度は、産業医体制、健診項目や基準、ストレスチェック、健康管理支援システムなどについて両社の良い点を生かしながら、段階的に統一を進めています。

取り組みの一例

- 50名未満の事業所へ産業医を配置し、きめ細かなフォローを実施
- 定期健康診断での会社負担のがん検査を若年層に拡大（希望者のみ）
- 「職場における健康セミナー」の全社展開（全国の製油所・事業所・研究所・支店14拠点で計20回の開催を予定）
- 衛生委員会や社内情報ポータル、社内報を活用した、健康相談窓口の周知や各拠点の医務室紹介

中期的な取り組みの推進

2020年度以降は、自律的な健康管理につながる健康経営を実践することで、行動指針で示している「すべてにおいて健康・安全を優先する」姿を具現化し、社員が安心して仕事に注力できる状態を構築していきます。

主な重点課題と具体策

1. 健康意識の向上

健康宣言や方針・定量的な状態を定期的に社員に周知することで、健康に関して議論する場を日常化します。

2. 休務・休職の予防

メンタルヘルス不調者への対応として社内専門職チームを充実させるとともに、自律的な予防につながる生活習慣病対策を展開します。

3. 推進体制・PDCAの強化

推進体制を明確にし、経営委員会で定期報告するとともに、システムを有効活用することで、効果的にPDCAを回していきます。

健康に関する指標（現状と目標）

上記の具体策推進において、以下のような健康に関する指標について目標を設定し、取り組みます。

●こころの健康

メンタルヘルス不調による1か月以上の休務・休職者の比率

2018年度実績：1.3% ⇒ 2022年度目標：1.0% 以下

●カラダの健康

| 健康管理区分の比率 |    |                 |     |     | (単位：％)          |
|-----------|----|-----------------|-----|-----|-----------------|
|           | 全体 | 2018年度実績<br>40代 | 50代 | 60代 | 2022年度目標<br>40代 |
| 健康群       | 49 | 44              | 37  | 36  | 50以上            |
| 予備群       | 41 | 44              | 51  | 53  | —               |
| 不良群       | 10 | 12              | 12  | 11  | 10未満            |

※ 健康管理区分は、健診項目のうち生活習慣病に関連する項目について、学会基準を参考に当社で設定した区分（不良群は、項目別にBMI30以上、血圧（収縮期）160以上、HbA1c 8％以上など）です。

※ 最終的には各年代で健康群50％以上、不良群10％未満を目指します。効果が出るまでに相当の期間が必要となるため、中期目標では、40代の改善をアウトカム指標として設定しています。

●健康意識・生活習慣

| 健康診断などの結果における指標          |          |          | (単位：％) |
|--------------------------|----------|----------|--------|
|                          | 2018年度実績 | 2022年度目標 |        |
| 健康診断の問診（生活習慣）で問題がある社員の比率 | 78       | —        |        |
| うち、運動不足の比率               | 47       | —        |        |
| うち、睡眠不足の比率               | 33       | —        |        |
| セルフケアを実践している社員の比率        | —        | 50以上     |        |